

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎処理の経費

今泉クリーンセンター処理事業

【 今泉クリーンセンター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 今泉クリーンセンター処理事業

- ・市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
184,702	182,465	179,464		3,001

主な支出内訳

- ・今泉クリーンセンター処理事業

薬剤等消耗品費	24,670
施設燃料費	2,586
施設用維持修繕料	77,375
電気工作物定期点検手数料	313
ごみ質検査手数料	498
作業環境調査業務委託料	441
環境調査業務委託料	2,520
定期機能検査業務委託料	499
焼却施設運転管理業務委託料	63,416
脱臭設備保守業務委託料	3,171
クレーン年次点検業務委託料	767
排水処理施設各槽清掃等業務委託料	964

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-23 今泉クリーンセンター処理事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1172 ごみ処理事業					
主管課	今泉クリーンセンター	関連課	環境部内各課				
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	収集されたごみを適正に処理する。 適正な処理100%						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
	収集対象人口	72,849人	72,231人	71,475人			
運営資源 状 況	決算値	179,464千円	162,216千円	181,597千円			
	(国・県)						
	(負担金等)	37,809千円	36,909千円	25,489千円			
	(一般財源)	141,655千円	125,307千円	156,108千円			
	人員配置数	7.2人	7.2人	7.2人			
	人 件 費	67,510千円	68,049千円	66,901千円			
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	246,974千円	230,265千円	248,498千円			
	市民1人当 りの経費	1,399円	13,091円	1,420円			
	対象者1人 当りの経費	3,390円	3,188円	3,477円			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
各種規制基準の遵守	◎	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		実績値	100%	100%			
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
1時間当たりの焼却量	○	目標値	1,875kg/h	1,875kg/h	1,875kg/h	1,875kg/h	1,875kg/h
		実績値	1,806kg/h	1,863kg/h			
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
1人当たりの超勤時間の 削減(年間)	○	目標値	150H	150H	150H	150H	150H
		実績値	173H	156H			
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)  施設の老朽化が進んでいるため、より適正な維持管理と適切な運転管理を実施するとともに、近隣住民に運転状況等の情報、環境調査等の測定結果を継続して提供する必要がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)  適正な維持管理を行うために、毎日の始業時に市職員と運転管理を委託している事業者との情報共有を目的としたミーティングを実施。また、市と近隣3町内会との相互理解を図るため、「今泉クリーンセンター連絡協議会」を設置し、管理、運営について情報を提供している。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)  なし
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)  今泉クリーンセンター連絡協議会に施設の状況、周辺環境調査の結果などを定期的に報告するとともに、山崎浄化センターバイオマスエネルギー回収施設の整備やごみ処理広域化等の動向を踏まえながら、施設の適切な維持管理に努めていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	施設は、建設後36年を経過し老朽化が進んでいるため、今後のごみ処理の動向、方向性を的確に把握し、近隣住民の理解と協力を得て、将来の課題に的確に対応できるよう適正な管理に努める。		
担当課長氏名:	今泉クリーンセンター所長 石井 貞雄		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	今後のごみ処理の方向性を早期に決定するとともに、より一層施設の適切な維持管理に努めていきます。		
担当部名	環境部	部長名	勝山 洋